

## 製品名: SIRT3 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe21475

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:44kD;Observed MW:28kD

### 抗原情報

遺伝子名	SIRT3
別名	SIRT3;SIR2L3;NAD-dependent protein deacetylase sirtuin-3;mitochondrial;hSIRT3;Regulatory protein SIR2 homolog 3;SIR2-like protein 3
遺伝子 ID	23410.0
SwissProt ID	Q9NTG7
免疫原	ヒト SIRT3 の合成ペプチド

### 背景

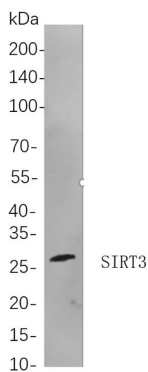
細胞局在: ミトコンドリアマトリックス。この遺伝子は、酵母 Sir2 タンパク質の相同遺伝子であるサーチュインファミリータンパク

質をコードしている。サーチュインファミリーのメンバーはサーチュインコアダメインを特徴とし、4つのクラスに分類される。ヒトサーチュインの機能はまだ解明されていないが、酵母サーチュインタンパク質はエピジェネティックな遺伝子サイレンシングを制御し、rDNAの組換えを抑制することが知られている。研究によると、ヒトサーチュインはモノADPリボシルトランスフェラーゼ活性を持つ細胞内調節タンパク質として機能する可能性が示唆されている。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サーチュインファミリーのクラスIに分類される。この遺伝子には、異なるタンパク質をコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2008年7月]

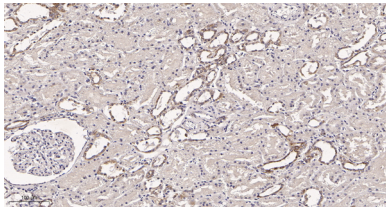
## 研究分野

-

## 画像データ



SIRT3 ウサギ mAb を用いた U-14 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。1、SIRT3 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。